

研究会開催のご案内

研究会代表 安永 悟
(久留米大学文学部)

拝啓、薫風かおる五月になりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

さて、今年度最初の研究会を下記の要領で開催します。今回は、この春から陣容が変わりました安永研究室の新メンバーを中心とした研究会を企画しました。また、年度初めの研究会ですので、新しい参加者も多くなることが予想されます。そこで、新しい参加者を意識した協同学習の基礎的な内容も盛り込むことにしました。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

参加予定の方は事前にご一報ください。資料の準備などがありますので、ご協力ください。むろん、事前のお知らせがなくても参加は可能です。案内が直接届いていない方も大歓迎です。皆さまとお目にかかれることを楽しみにしています。

なお、研究会の後、懇親会を予定しています。こちらは準備の都合がありますので、参加希望の方は必ずご連絡をお願いします。敬具

記

1. 日時：5月17日（土） 13時～17時まで
2. 場所：久留米大学御井キャンパス 学生会館ミーティング＝ルーム3
3. 参加資格：協同教育(学習)による授業づくりに関心のある方
4. 研究会の内容
 - (1) 挨拶・導入（担当：安永 悟）
 - a. 研究会への導入と、協同学習に関する最近の動向などを紹介します。
 - b. 簡単なグループづくりと協同学習に関する基本事項の確認も行います。
 - (2) 技法の紹介（担当：須藤 文）
 - a. 技法名：自己紹介すごろく
 - b. 目的：自分のことをもっとよく知ってもらう。質問や感想を言うことに慣れる。
 - c. 活用法：この自己紹介は、ある程度仲良くなった頃や、グループ替えのときなどがおすすめです。

(3) 松永有紀子（久留米大学大学院修士課程）

- a. 題目：「協同学習を基盤とした対話中心授業による批判的思考の育成」
- b. 内容：現在、「批判的思考」を育成する授業づくりに関心が寄せられています。しかし、その評価と授業分析には課題が多く、協同学習の観点から検討した研究は見当たりません。そこで今回は、協同学習を基盤とした授業による「批判的思考態度」の育成について検討します。

(4) 牧野典子（中部大学生命健康科学部、久留米大学大学院博士課程）

- a. 題目「協同学習を用いた急性期看護学の授業について」
- b. 内容：急性期看護学は、救急看護や集中治療室の看護、手術を受ける患者の看護などを教授する科目です。学生が看護を理解するためには、多くの専門的知識と技術の修得が必要です。15回のうち6回の授業に協同学習の技法を取り入れた成果と課題について報告します。

5. 懇親会のお知らせ

研究会終了後、西鉄久留米駅界隈での開催を予定しています。参加希望者は、5月12日（月）まで、下記のアドレスまで、ご一報ください。

6. 問い合わせ先

ご不明な点があれば、下記までお願いします。

安永悟 yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp

以上